



# こだい ちょっとあかし 先生と遊ぶ

## 雪の日

昔はね、今より、ずっと寒くて、ときどき大雪が降ったんだよ。

子どもたちが小学校へ行っているころは、雪が積もると、もう、手袋も靴下も服も、びしょぬれで帰ってくるの。

「二日中、先生と雪遊びしてた」って、言うんだからね。親もそれをわかってるから、替えの手袋や靴下を持たせるんだけど、それさえもびしょびしょ。

雪の日は、先生が「今日は特別授業だ」って、子どもたちと雪合戦した

今みたいに防水のものなんてないから、ついた雪がとけて、ぬれてしまふの。長靴に入った雪もとけて、さを冷たいと思うんだけど、子どもたちは、先生と遊べるのがうれしくて、そんなことは気にならなかったみたいだよ。

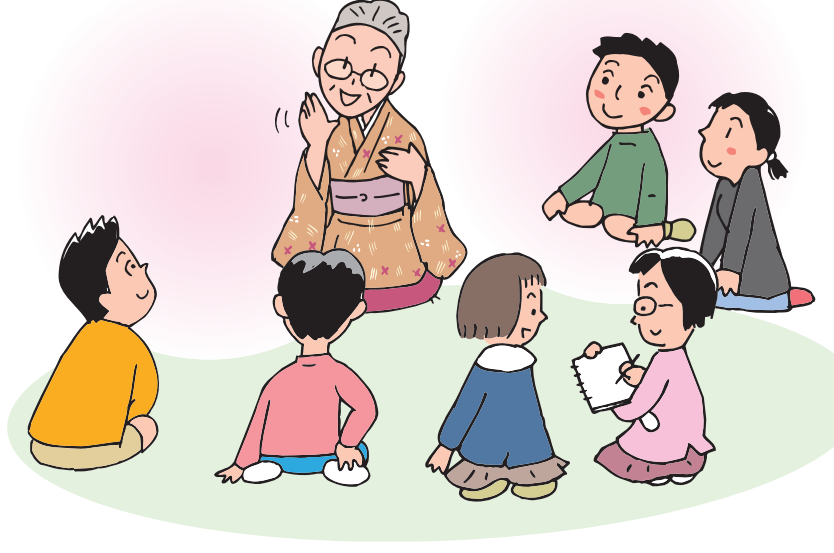
それで先生から教えてもらったって、子どもが私に雪の結晶を見せてくれたことがあったの。

黒い紙に降ってくる雪をとって、虫眼鏡で見ると、結晶が見えるの。私もそのとき、初めて見たんだけど、一つずつ形が違っていて、それはきれいなんだよ。それも生きた勉強だね。

だから雪の日は、子どもたちは、よこんで学校へ行ったもんだよ。



あけましておめでとうございます。  
今年は一と昔まえの先生と生徒のふれあいについて、タマおばあさんに語ってもらおう形で紹介します。



そのころは学校の休みは、一週間のうち日曜日だけだったよ。その日曜日にとどき、子どもたちだけで、先生のうちに遊びに行っていたの。

特別のことじゃなくて、だれもが心安く先生のうちに遊びに行っていたんだよ。

親たちも自分のうちの畑でとれた野菜なんかを持たせて、「先生のうちでは行儀よくしろ」なんて、言い聞かせて送り出したよ。

先生も子どもたちが来



タマおばあさんのお話は、いかがでしたか。感想をどうぞお寄せください。

協力 小平民話の会  
問合せ 秘書広報課 ☎042(346)9505



## 日曜日

帰ってきてから、「先生のうちで食ったうまいもんをうちでも作ってくれ」って言うの。先生の奥さんがおやつを作ってくれたんだって。

子どもによく聞いたら、どうも白玉と寒天に白みつをかけたものらしいの。そんなしゃれたのは、うちで作ったことがなかったからね。

それに先生は何でもよく知っている、子どもは

「先生は百科事典みたいだ」って言ったの。それを聞いて、先生は「自分だっけ知らないことはあるから九十九科事典だ」って笑ってたそうだよ。

昔は、先生と子どものふれあいが、たくさんあった気がするね。

## 当直



うちの子どもたちが小さいころは、警備員さんじゃなくて、先生が当直や宿直を交代でやっていたの。

当直は休みの日の昼間

うちの子どもたちが小さいころは、警備員さんじゃなくて、先生が当直や宿直を交代でやっていたの。

受け持ちの先生が日曜日に当直をするときには、子どもたちが大勢で行っていたよ。先生もいっしょにボール遊びやら、任けりをして、校庭で遊ぶんだって。

勉強が遅れている子がいると、少し早めに先生が呼んでくれて、補習をしてくれるから、親も助かったんだよ。

## 夏休み



うちの息子は、受け持ちの先生が夏休みの宿直のとき、学級の友達といっしょに泊まりに行っていたことがあったよ。

「なにがそんなに楽しいんだい」って聞いたらね、「先生と肝試しするんだ」って。

夜、先生が懐中電灯をつけて、学校内を見回しするんだけど、それに誘われて、自分たちで火をおこしてご飯を炊いたね。

子どもたちが作るんだから、カレーが薄かったり、濃かったりしたようだけど、やっぱり最初から自分で作ったのが、うれしかったんだろね。

「あんなおいしいカレーは初めて食べた」なんて、喜んで帰ってきたもんだよ。

そういえば、秋には校庭の落ち葉をためておいて、焼き芋をするから、うちの畑でとれたさつまいもを学校に持って行っていたよ。

そういうことが楽しかったみたいだね。